

相馬福島道路（復興支援道路）の進捗状況を発信 ～相馬市「市民のひろば」オープニングセレモニーでパネル展示～

相馬福島道路は早期開通を目指して整備を進めており、相馬西道路が平成30年度、阿武隈東道路が平成28年度、阿武隈東～阿武隈間および霊山道路が平成29年度の開通に向け、工事の全面展開を図っております。

この度、相馬福島道路の事業進捗を地元の皆様および道路利用者の方々に実感していただくことを目的に、相馬市「市民のひろば」オープニングセレモニーの展示ひろばのコーナーで進捗状況を掲載したパネルの展示を行います。

相馬福島道路は、常磐自動車道と東北縦貫自動車道を結ぶ約45kmの自動車専用道路（無料）であり、東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクト（復興支援道路）として、位置づけられています。

また、相馬福島道路の開通により、平時においては地域の暮らしや産業を支えるとともに、災害時には緊急輸送道路としての信頼性向上が期待されます。

1. 開催日時： 平成26年7月26日（土曜日）10時～14時
2. 展示場所： 相馬市民会館駐車場（相馬市中村字北町51-1）
相馬市「市民のひろば」オープニングセレモニー・展示ひろば
3. 展示内容： 相馬福島道路進捗状況パネル

発表記者會等：いわき記者会、いわき記者クラブ、いわき市ふるさと発信課、
福島建設工業新聞、南相馬市役所記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 磐城国道事務所

TEL 0246-23-2211（代表）

副 所 長 ちば 千葉 とみひこ 富彦（内線204）

工務課長 いわぶち 岩渕 まこと 誠（内線411）

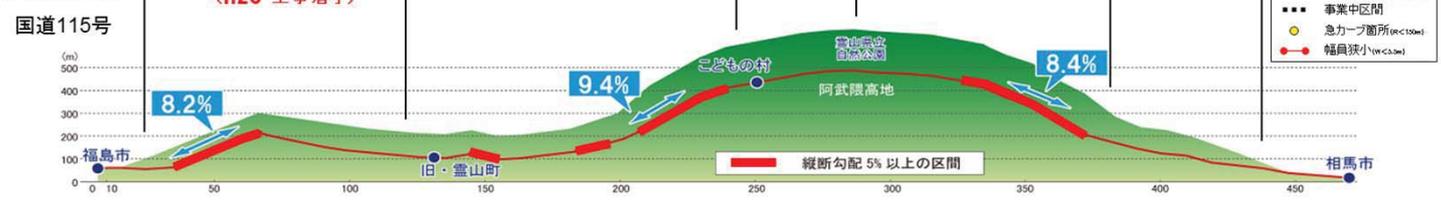
【復興支援道路】一般国道115号 相馬福島道路の概要

相馬福島道路は、常磐自動車道と東北自動車道を結ぶ約45kmの自動車専用道路(無料)であり、東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクトとして位置づけられています。

【平面図】



【縦断図】



整備効果① 災害発生危険箇所を回避し、緊急輸送道路の信頼性を確保

- 国道115号は、大雨による事前通行規制や自然災害等により通行止めが頻繁に発生 (通行止14回/15年)
- 相馬福島道路は、大規模災害時においても寸断されない強靱で信頼性の高い道路ネットワークを形成

▼ 相馬市～福島市間の緊急輸送道路は国道115号のみ



▼ 落石等により寸断された国道 国道115号相馬市山上地区 (H18年6月)



▼ すれ違いが困難な狭小幅員



整備効果② 迅速な救急搬送で、安全・安心な住民生活に寄与

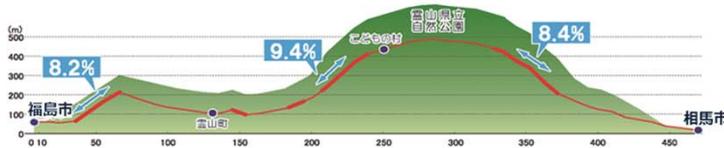
- 相馬地方広域消防本部圏（相馬市、南相馬市、新地町）における救急搬送先は、県立医大付属病院が約 8 割
- 相馬福島道路は、迅速かつ安定的な救急搬送を実現し、安全・安心な住民生活に寄与

▼国道115号の急勾配・急カーブ区間

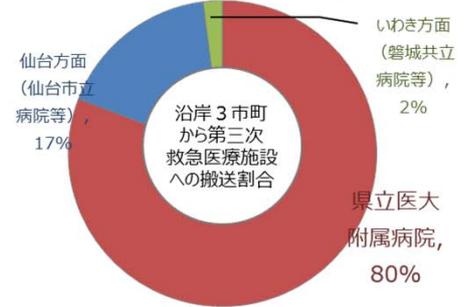


※所要時間
相馬市役所 ↔ 県立医科大学付属病院 間

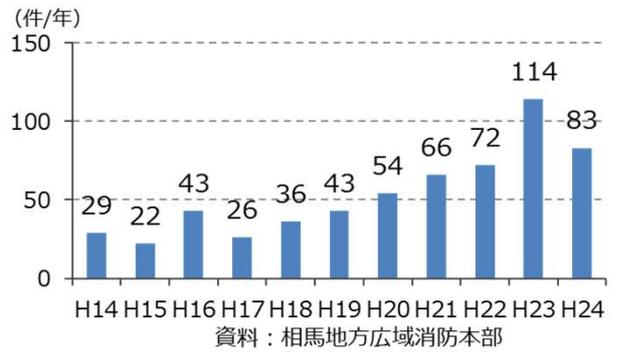
線形不良箇所 (R < 150m)
N=103箇所



▼沿岸 3 市町から第三次救急医療施設への搬送割合(H21~H24)



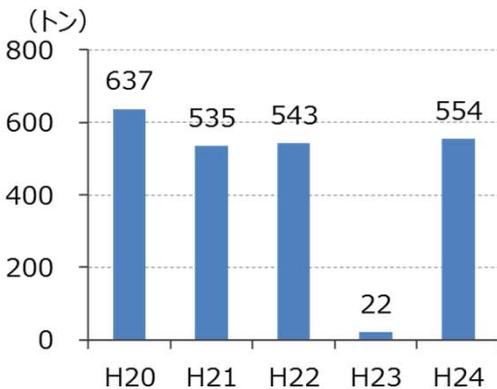
▼沿岸 3 市町から県立医大付属病院への搬送実績



整備効果③ 相馬港を活用した輸送効率化で、企業活動の活性化を支援

- 相馬港の取扱貨物量は東日本大震災以前と同程度まで回復しているものの、企業が集積する内陸部との連携が課題
- 相馬福島道路は、相馬港を活用した輸送効率化を図り、企業活動の活性化を支援

▼取扱貨物量推移（相馬港）



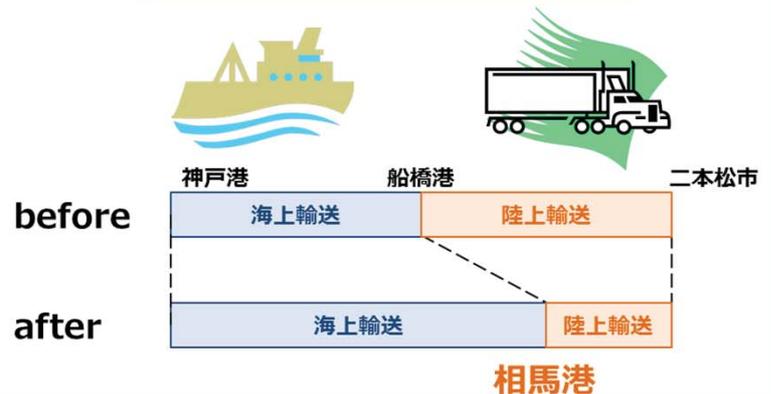
▼相馬港荷下ろし風景



《輸送コスト削減の事例》

鑄造用並びに製鋼用鉄源を扱う二本松市の I 社は、銑鉄の輸送にあたって相馬港を活用する輸送経路に切り替えることで、大幅なコストダウンを実現

2,000円/tのコスト削減



出典：福島県相馬港利用促進協議会HP